

令和4年度 第4回佐賀市地域公共交通協議会議事録

開催日	令和4年11月28日（月）14:00～:16:00	
出席者	委員	白井会長、津留委員、大鶴委員、小島委員、志満委員、山本委員、原委員、松本委員、中村委員、金崎委員、内田委員、坂井委員、小城原委員、犬尾委員、古賀一彦委員、五十嵐委員、古賀香光委員、中尾委員
	事務局	大串企画調整部長、大塚交通政策課長、内川交通政策係長、江口交通政策係主査、納富交通政策課主任、野田交通政策係主事、古賀交通政策係主事
欠席者	江上副会長、岡本委員、牛島委員、野口委員	
議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更認可申請及び運賃(料金)設定(変更)届出について【ロイヤル観光株式会社】</li> <li>・佐賀市地域公共交通計画（素案）について</li> </ul>	
報告	なし	
傍聴者（公開）	なし	
報道機関	1社	

【議事1：一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更認可申請及び運賃(料金)設定(変更)届出について【ロイヤル観光株式会社】】

事務局から説明（割愛）

○委員

- P3 ・利便性の確保は住民側の視点か、事業者側の視点か。
- P6 ・具体的に満足度が高いというのはどういうことか。
  - ・通院利用者に利用してもらうことも大切なことである。
  - ・イベントでの利用も大切だが、日常的な利用が大事である。
- P7 大型化はいいのではないか。

●事務局

- P3 利便性の確保は住民側の視点である。
- P6 ドア ツー ドア（家から目的地まで）の運行をしていることから満足度が高くなっている。
- P7 小型車だと知らない人と密接することになるため、イメージ的に乗合を避けることもあったことから大型化している。

議事1について同意 14:29

【議事2：佐賀市地域公共交通計画（素案）について】

事務局から説明（割愛）

「計画の基本方針と目標」、「目指す地域公共交通ネットワーク」

○委員

久保泉校区がモデル地区として地域内で協議をしているが、神崎市への移動希望が多い。そのようなときに公的に議論する場はあるのか。

●事務局

市をまたぐ移動については、ケースごとに関係市町と協議を行うが、県所管のワーキンググループで市町及び事業者と協議することはできる。

○委員

立地適正化計画が策定中だが、整合はとっていくのか。

●事務局

策定している建設部の部門とも連携をとっており、立地適正化計画との整合はもちろんとっていく。必要があれば、見直しもおこなう。

「目標達成に向けた施策・事業」

○委員

脱炭素に向けて、高品質バイオディーゼル燃料（HiBD）の活用を継続したうえで、次世代自動車の導入も推進するのか。

●事務局

HiBDについても活用しながら、更新時に次世代自動車への転換を検討していただく。

○委員

並存ではなく、次世代自動車へ移行していくという考え方でよいか。

○会長

HiBDの活用を継続することと、次世代自動車への移行は脱炭素に向けての事業として自己矛盾しないのかという指摘である。

●事務局

本計画は5年間の計画であり、次世代自動車への移行を進めていきたいという考え方である。一方で車両購入は高額であり、HiBDの活用も現状で進めていることから、どちらも推進していきたい。

○委員

佐賀駅バスセンターがリニューアルして、デジタルサイネージもついた。

一方で、市内各地の拠点整備で、雨ざらしのバス停が多かったりする。佐賀市は自転車利用者が多いため、バス停に自転車置き場を併設する等、デジタル化だけではなく拠

点を整備するようなことも考えることが必要。

●事務局

バス停全てではなく、乗り換え拠点を見極め、サイクル&ライドができるような整備も考えていきたい。

○委員

シェアサイクルや自転車の駐輪場の話もあるが、電動車いすのシェアリングがあっても面白いと思う。また、道路自体に段差があって危険だなと思うことがある。

●事務局

道路の部署とも連携しながらやっていきたいと思う。バスには電動車いすは乗せ込みが可能である。道路の段差については、計画とは別に関係部署と連携していく。

○委員

公共交通への関心を高める運賃施策の展開として、令和5年1～2月に「さがバスまるっとフリーDAY」を実施予定。原則日曜・水曜にバス無料デーを行うので、この機会にバス利用をしていただけるように広報をしていきたい。

○会長

利用促進での取組なので、素晴らしい取組だと思う。

○委員

この場合は、公共交通の話ではあるが、地域福祉で運行しているものと連携していくことはあるのか。

●事務局

ボランティア輸送については、情報としてはあるが、交通事業者がない地域ではあり得るが、まずは交通事業者と地域と行政の三者でおこなってきたい。

○委員

電動キックスケーターを展開するとあるが、危険ではないか。安全性の考え方はどうか。

●事務局

移動手段としては、法改正されているが、市内で定着するのも含め、可能性として考えていきたい、記載している。

「計画の推進体制」「計画の評価方法」

○委員

目標値は令和元年の8割という記載をした方がいいのではないかと。現状と目標値に乖離がありすぎると無理な目標を立てているように見える。

●事務局

基準値・現状値・目標値という記載を検討したい。また、他計画の目標を引用している箇所もあるため、それらについては、他計画が改正された場合に見直したい。

○委員

市内のバス路線は佐賀駅バスセンターから放射状になっているのが現状。その間をつなぐことが課題だと思っている。

ニュージーランドでは市街地の外周に電車がいっていて、市街地内は他の交通がはしっていた。

難しいと思うが、そういった考えがあってもいいと思う。

●事務局

以前環状線を走らせていたが、採算がとれずに取りやめた経緯もある。

イメージではなく、データをもとにやっていければと思っている。

議事 2 について同意

15:59

閉会 16:00